

きぼっこキャンプのボランティア・リーダー募集！

主に手足の不自由な子どもと障がいのない子どものキャンプ
(共同生活)を子どもたちと共に創っていくボランティアを募集します。

きぼっこキャンプ 昭和47(1972)年スタート～

第52回きぼっこキャンプ(2025年)は、
子どもたちが親元を離れ、ボランティアと一緒に、
夏4泊5日(8/13～17)、冬1泊2日(12/27～28)の
共同生活(キャンプ)を創ります。

ボ
ラ
ン
テ
ィ
ア

リーダー(18～25歳)(学生等)
子どもたちと直接関わります。
話し合いのサポート、必要に応じての介助等

スタッフ≡ディレクター(25歳以上)
(教員、医師、施設・団体職員、会社員等)
キャンプ全般のサポート、トレーニング担当等



主催 社会福祉法人 宮城県障がい者福祉協会の
肢体不自由児協会事業 ☎022(293)2902

共催 きぼっこキャンプ実行委員会

住所 仙台市宮城野区幸町4-6-2
宮城県障害者福祉センター内

第52回きぼっこキャンプ 計画

参加者(募集)

キャンパー(児童生徒)

小学5年生～高校3年生 主に肢体不自由児
障がいのない子ども 男女計 10～12名

リーダー 男女計 10～12名
ディレクター 男女計 10名

キャンプ日程

夏:8月13日(水)～17日(日)(4泊5日)
宮城県障害者福祉センター(宮城野区幸町)
宮城県七ツ森希望の家(黒川郡大和町)

冬:12月27日(土)～28日(日)(1泊2日)
宮城県七ツ森希望の家(黒川郡大和町)

☆活動のプログラムは、子どもたち(キャンパー)が
話し合って決めていきます
※猛暑を考慮、冷房設備がある施設で宿泊します。
※クマ出没を考慮、テント活動はおこないません。



ケー
キ
作り!

キャ
ンド
ル
サー
ビス



リーダーの参加条件

年齢:18歳(高校卒業)以上25歳まで
☆夏・冬キャンプの参加
☆子どもが好き、子どもと遊ぶことが好き
*トレーニング、打合せ会等の参加

トレーニングの目的

- ・きぼっこキャンプの趣旨、方法を理解する。
 - ・キャンパーを理解する。
(やってみいたいこと、好きなこと、願いなどを知る)
 - ・リーダー同士のチームワークを培うため
*子どもと安心して遊ぶための知識、技術を習得
- 内容:歌、ゲーム等レクリエーション指導
障がい・介助(個別理解)、組織と役割、
プログラムの進め方、グループワークなど

トレーニングの日程・会場

原則 毎週土曜日17:00～19:00 8回

会場:生涯学習支援センター(宮城野区榴岡4-1-8)
宮城県障害者福祉センター(宮城野区幸町4-6-2)

費用

ボランティアは、キャンプ本番の宿泊費・飲食費
おやつ代及び参加費は無料です。
ボランティア保険の費用は、主催者が負担します。
※ トレーニング会場までの交通費は、各自の負担に
なります。

ボランティアキャンプリーダーの説明・選考会

5月10日(土) 16:30～

仙台市生涯学習支援センター(第2セミナー室)

※説明会に参加困難な方、個別に対応します。(5月中)
メール、電話等でご連絡ください。

E-mail: kibounoko@shinsho-miyagi.or.jp

☎ 022(293)2902

Q1 「きぼっこキャンプは、どんなキャンプですか？」

きぼっこキャンプは、1972年から始まり、今回で52回を迎えます。

(新型コロナの影響で2年間休止)

主に、手足に障がいのある子どもたちと障がいのない子どもたちが、親元を離れ、子どもたちが話し合いで決めたプログラムにより、夏は4泊5日、冬は1泊2日、共同生活を過ごします。

今年のキャンプは、宮城県障害者福祉センター、セツ森希望の家で宿泊して、これら施設周辺での活動を予定しています。



Q2 キャンプ中、子どもたちは何をするの？

食事や、入浴等の生活時間以外は、子どもたちのグループの話し合いによって自由に活動を行います。グループ活動を通して互いを認め合い、理解しあうことを大切にしています。



Q3 (ボランティア) リーダーは何をするの？

子どもたちと一緒にグループ活動を組み立て、キャンプを創ってゆきます。必要に応じて介助を必要とする子どもたちの支援もおこないます。



Q4 「ボランティアは初めて。大丈夫ですか？」

大丈夫です。キャンプ当日までに、トレーニング(8回)を受けてキャンプへの理解を深め、準備していくので、福祉あるいは教育を学んでいなくても問題ありません。

今までもボランティア未経験の方々がリーダーとしてキャンプを支えてきています。

* ボランティア保険加入、キャンプに掛かる宿泊費、食事代は主催者が負担します。トレーニング会場(仙台市生涯学習支援センター、宮城県障害者福祉センターまでの交通費は各自負担となります。



Q5 「きぼっこキャンプのボランティアをやろうか迷っているのですが？」

少しでも興味関心がある方は、ご連絡ください。

* e-mail kibounoko@shinsho-miyagi.or.jp

